

小児科医はいなくなったのか

コアラメディカルリサーチ
江原朗

説明させていただくこと

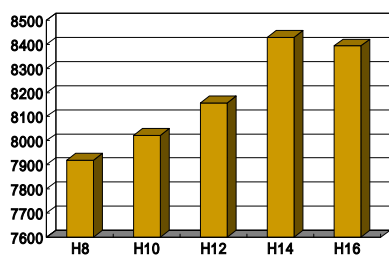
- 小児科勤務医の年次変化
- 小児科勤務医の年齢構成
- 小児科時間外受診の推移
- 小児科勤務医の勤務時間

小児科勤務医の年次変化

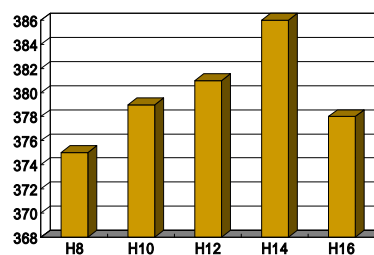
小児科勤務医数の変化

病院小児科医	H8	H10	H12	H14	H16	H16/H8	H16/H14
全 国	7919	8022	8158	8429	8393	106%	100%
北海道	375	379	381	386	378	101%	98%
東北	561	556	557	575	562	100%	98%
関東	2395	2462	2468	2536	2640	110%	104%
中部	1376	1436	1440	1479	1463	106%	99%
近畿	1404	1392	1458	1562	1422	101%	91%
中国	528	506	543	560	553	105%	99%
四国	303	301	303	316	313	103%	99%
九州沖縄	977	990	1008	1015	1062	109%	105%

全国の小児科勤務医



北海道の小児科勤務医



医師の偏在 (H14~16)
小児科勤務医が5人以上増加地域



医師の偏在 (H14~16)
小児科勤務医が5人以上減少地域



小児科勤務医が増加した二次医療圏
(H14~16、10人以上)

二次医療圏名	都道府県	増減(人)	比率
1302 区南部	東京都	48	53.3%
1304 区西部	東京都	42	17.2%
1305 区西北部	東京都	33	17.7%
1103 西部第一	埼玉県	24	19.2%
4001 福岡・糸島	福岡県	16	7.0%
1408 湘南西部	神奈川県	12	18.5%
2307 知多半島	愛知県	12	33.3%
2708 大阪市	大阪府	11	3.3%
3302 県南西部	岡山県	11	13.4%
1303 区西南部	東京都	10	4.9%
1312 北多摩北部	東京都	10	10.5%
2501 大津	滋賀県	10	15.2%

小児科勤務医が減少した二次医療圏
(H14~16、10人以上)

二次医療圏名	都道府県	増減(人)	比率
2802 阪神南	兵庫県	-10	-6.5%
1504 新潟	新潟県	-11	-11.3%
3301 県南東部	岡山県	-11	-7.3%
1301 区中央部	東京都	-15	-5.4%
2703 北河内	大阪府	-15	-12.2%
2007 松本	長野県	-19	-18.8%
0403 仙台	宮城県	-31	-16.0%
2604 京都・乙訓	京都府	-69	-22.5%

病院1施設あたりの小児科医師数
(平成16年)

病院あたりの小児科医師数	H16
北海道	1.9
東北	2.0
関東	3.3
(東京都)	5.2
中部	2.4
近畿	2.9
中国	2.3
四国	1.8
九州・沖縄	2.3
全国	2.6

小児科医師全体(勤務医+開業医)の
変化(H14~16)

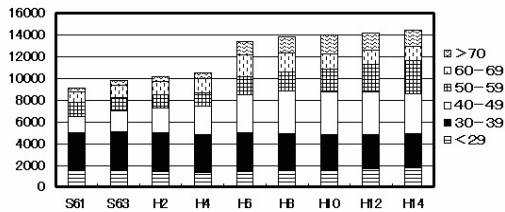
H16-H14	総計	病院	診療所
北海道	-10	-8	-2
東北	-18	-13	-5
関東	193	104	89
(東京)	144	98	46
中部	17	-16	33
近畿	-72	-140	68
中国	22	-7	29
四国	-7	-3	-4
九州・沖縄	71	47	24
全国	196	-36	232

小児科勤務医の年齢構成

小児科医(勤務医+開業医)の年齢構成

- 40歳未満の医師でみると、小児科医(勤務医+開業医)はこの20年弱増加がほとんど認められない

小児科勤務医の年齢構成



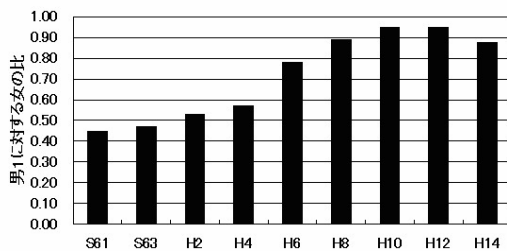
若年層における小児科医の女性比率の増加

- 29歳以下の小児科医師における男女比

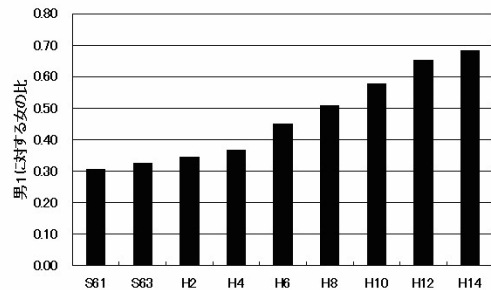
昭和61年:1:0.45

平成14年:1:0.88

小児科医の男女比の推移 (29歳以下)



小児科医の男女比の推移 (39歳以下)



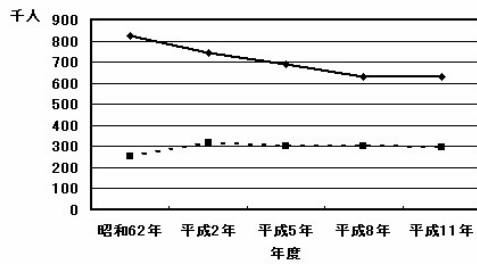
小児科時間外受診の推移

小児科受診数の推移

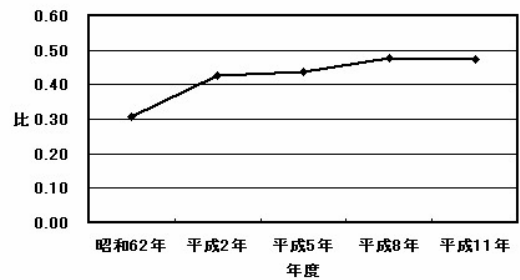
- 小児人口は減少しているが、受診数はあまり減っていない(診療所の増加等で施設あたりの受診数は減ったかもしれないが)
- 理由は、小児人口の総診療科にしめる小児科受診率が上昇したからである

小児科受診数

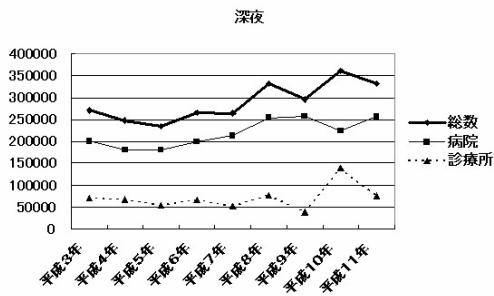
(患者調査; 実線: 総診療科, 点線: 小児科)



小児の受診における小児科の比率



深夜受診数の推移 (全科、全年齢)



小児科の時間外受診の比率

平成14年6月審査分	全年齢	15歳未満
初診・再診回数	126918038	13237272
時間外・休日・深夜 加算回数	2741587	1381406
時間外・休日・深夜 の比率	2.2%	10.4%

日中と夜間の小児科医療従事医師数

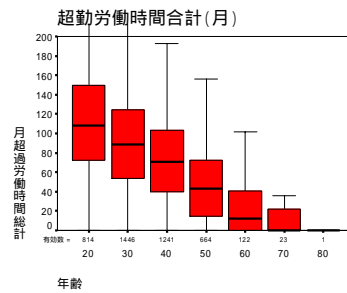
H14	医師数	施設数	施設あたりの医師数
病院小児科医(主)	8429	3359	2.51
診療所小児科医(重複)	24277	25862	0.94
小児科医総計(重複)	32706		

小児科勤務医の時間外診療の負担

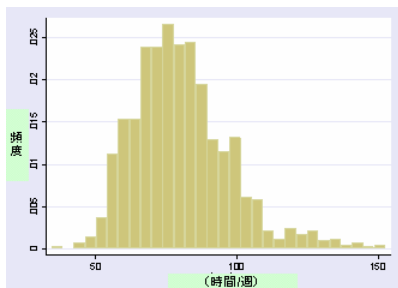
平成14年6月	小児科 受診数	施設数	小児科 医	小児科医あたりの 月間患者数
日中	11855866	29221	32706	362
時間外・休日・ 深夜	1381406	3359	8429	164
合計	13237272	29221	32706	405

小児科勤務医の勤務時間

日本小児科学会での勤務実態調査

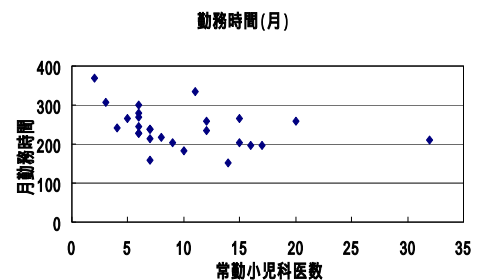


国立保健医療科学院の調査 (全科, 1週間当りの勤務時間)



27小児救急拠点病院の勤務実態 (厚生労働省医政局)

(未公開: 国会議員より入手)



結論

- 小児科勤務医は全国的に増加傾向にある
- 都会と地方との間の医師の偏在が問題である
- 小児の深夜受診が増加し、地方の病院(小児科勤務医数が少ない)に負担が増大
- 小児救急確保には集約化が不可欠である。

参考文献

- 「小児科医と労働基準」

http://homepage3.nifty.com/akira_ehara/index.html